

表①

正式議案番号	議題	審議時間 (分)	質疑時間 (分)	質問 (人)	意見 (人)	発言計 (人)
第1号議案	第65回定期総会プログラムの件	5	0	0	0	0
第2号議案	宣教研究所運営委員長追認の件(理事会承認)	1	0	0	0	0
第3号議案	監事補充選任承認の件	3	1	0	1	1
第4号議案	回転資金委員補充選任承認の件	11	7	2	2	4
第5号議案	連盟加盟承認の件(山鹿新生キリスト教会)	30	17	3	3	6
第6号議案	連盟加盟承認の件(多摩みぎわキリスト教会)	23	12	3	3	6
第7号議案	連盟加盟承認の件(西福岡のぞみキリスト教会)	24	13	3	4	7
第8号議案	総会検討委員会、並びに委員選任・選出の件	25	9	3	1	4
第9号議案	2018年度活動報告、並びに業務監査報告承認の件	40	26	3	3	6
第10号議案	連盟出捐不動産処分に関する理事会決議報告承認の件	3	0	0	0	0
第11号議案	2018年度諸会計決算並びに会計監査報告承認の件	33	9	1	3	4
第12号議案	2019年度補正予算編成の件(国外伝道会計)	9	0	0	0	0
第13号議案	天皇代替わりに際しての私たちの信仰表明の件	15	3	0	2	2
第14号議案	平和に関する信仰的宣言(平和宣言)の改定に関する件	44	23	5	4	9
第15号議案	2020年度活動方針、並びに活動計画の件	87	38	5	10	15
第16号議案	2020年度諸会計予算の件	67	42	6	6	12
第17・18号議案	総会役員、及び各総会委員会委員長選挙の件/候補者選考委員選挙の件	23	0	0	0	0
第19号議案	第66回定期総会における理事長・副理事長選挙の件	19	5	1	4	5
第20号議案	総会牧師選任の件(理事会推薦)	1	0	0	0	0
協議1	これからの連盟に関する協議	88	59	12	6	18
報告1	総会役員及び総会委員補充選任に関する報告	1	0	0	0	0
報告2	理事休職に伴う理事代務者選任に関する報告	1	0	0	0	0
報告3	天城山荘に関する特別報告	52	39	4	5	9
報告4	将来のハラスメント防止ガイドラインに関する報告	8	4	1	0	1
報告5	次期総会(第66回定期総会)の開催日程、及び場所について	1	0	0	0	0
	合計(のべ人数)	614分	307分	52人	57人	109人

表②

	加盟教会数と割合		出席教会数と割合		発言教会数と割合		代議員数と割合		発言者数と割合	
北海道	16	5.5%	8	50.0%	2	3.2%	13人	4.4%	3人	4.3%
東北	15	5.2%	12	80.0%	3	4.8%	17人	5.7%	4人	5.8%
北関東	19	6.6%	18	94.7%	4	6.5%	29人	9.8%	4人	5.8%
東京	49	16.9%	36	73.5%	12	19.4%	57人	19.2%	13人	18.8%
神奈川	18	6.2%	15	83.3%	8	12.9%	23人	7.7%	8人	11.6%
西関東	9	3.1%	8	88.9%	1	1.6%	9人	3.0%	1人	1.4%
中部	13	4.5%	11	84.6%	5	8.1%	16人	5.4%	5人	7.2%
関西	32	11.0%	19	59.4%	3	4.8%	23人	7.7%	3人	4.3%
中国・四国	19	6.6%	11	57.9%	4	6.5%	13人	4.4%	4人	5.8%
北九州	28	9.7%	16	57.1%	4	6.5%	24人	8.1%	4人	5.8%
福岡	39	13.4%	29	74.4%	9	14.5%	39人	13.1%	12人	17.4%
西九州	12	4.1%	11	91.7%	2	3.2%	14人	4.7%	2人	2.9%
南九州	21	7.2%	13	61.9%	5	8.1%	20人	6.7%	6人	8.7%
	290	100.0%	207	71.4%	62	100.0%	297人	100.0%	69人	100.0%

※出席教会数の割合は、各連合の教会数に対する割合。それ以外の割合は、全体に対する各連合の占める割合。

表③

	代議員数と割合		発言者数と割合	
女性教役者	31人	10.4%	6人	8.7%
男性教役者	164人	55.2%	47人	68.1%
女性非教役者	44人	14.8%	3人	4.3%
男性非教役者	58人	19.5%	13人	18.8%
	297人	100.0%	69人	100.0%

表④

年代	代議員数と割合		発言人数と割合	
20代	2人	0.7%	0人	0.0%
30代	16人	5.4%	4人	5.8%
40代	38人	12.8%	6人	8.7%
50代	79人	26.6%	20人	29.0%
60代	87人	29.3%	19人	27.5%
70代	66人	22.2%	18人	26.1%
80代	7人	2.4%	2人	2.9%
不明	2人	0.7%		
	297人	100.0%	69人	100.0%

表⑤

発言回数	人数	教会数	同じ教会からの発言回数内訳
8回	1人	1教会	
6回	0人	1教会	4回+2回
5回	0人	1教会	3回+2回
4回	2人	2教会	3回+1回
3回	8人	8教会	(2回+1回)×2
2回	11人	9教会	(1回+1回)×2
1回	47人	40教会	
0回	228人	145教会	
欠席		83教会	
合計	297人	290教会	

&lt;表①&gt;

- ◇ 「審議時間」は、議長がその議案の審議を始めることを宣言した時から、採決が終わった時までの時間の合計です。ただし、間に休憩などが入った場合には、休憩時間などを除いて議事が進められている時間を合計しました。「質疑時間」は、審議時間のうち、「代議員からの質問・意見、および提案者からの回答」にかかった時間です。
- ◇ 総会プログラムでは、議事時間に「12時間」が割り当てていましたが、議事に伴う総会役員からの説明や開始時間・終了時間の変更、休憩時間などを除くと、審議そのものに充てることができた時間はおよそ10時間14分(614分)となりました。
- ◇ 前回総会で「審議時間」と「質疑時間」に最も多くの時間を割いたのは「協議1」でした。それでも59分の質疑時間の中で発言することができた代議員は18名(質問12名、意見6名)だけであり、これは全代議員(297名)のうち6.1%に過ぎません。
- ◇ 次年度の活動方針・活動計画案には、前年度活動報告の2倍以上の時間を割いていますが、その時間の半数以上が説明に費やされました。
- ◇ 代議員の発言には、「一人一回2分まで」という目安がありました。実際に一人当たりにかけられた時間を単純に計算すると、 $307分 \div 109人 \approx 2.82分$  (質問、意見、質問への回答含む) となります。このことから、代議員の発言も、提案者の回答も、著しく目安の時間を超過したものではなかったと考えられます。
- ◇ 上記の計算を用いると、約300名の代議員が議場で一度ずつ質問・意見を述べ、かつ回答を得るためには、 $300人 \times 2.82分 = 846分 = 14時間6分$  が必要となります。つまり、一つの議場で一人ずつ発言する現在の形式では、2泊3日の議事のすべてを質疑時間に充てたととしても、全加盟教会の声を聞く

ということは物理的に不可能であることがわかりました。

- ✧ 加盟教会・代議員が自由に質問し、意見を述べ、それに提案者（理事会）が答え、さらには代議員相互に意見を交わし、内容を深めていくということは、現在の形式ではほとんど不可能です。それは議長団や総会運営委員の努力や工夫の問題ではなく、300人が一堂に会するという物理的な制約上の課題だと考えなければなりません。議決をするだけであれば300人でもできますが、審議を十分に行うためには、議案数を減らすだけでなく、いつ、どこで、どのように質問や意見が出し、それを共有し、深めるか、という構造自体を再検討することが必要だと考えます。

#### <表②>

- ✧ 総会出席率には地域ごとに差が生じていました。出席率の低い地域は、北海道（50.0%）、北九州（57.1%）、中国・四国（57.9%）、関西（59.3%）、南九州（62.0%）であり、現状では出席しなければ議決権も行使できないため、議決権にも地域差が生じています。また、出席率の低い地域からの発言回数も少なくなる傾向が見られるため、連盟の政策への影響力には地域差が生じている可能性を考慮する必要があるでしょう。

#### <表③>

- ✧ 代議員の過半数（55.2%）は男性教役者（牧師、協力牧師、主事など）であり、全体の74.7%が男性でした。
- ✧ 発言者数ではその差がさらに広がり、68.1%が男性教役者、86.9%が男性となっていました。この差は議長団の指名によって生じたものではなく、議場の発言のしやすさ・しづらさが影響しているものと考えられます。つまり、構成代議員の偏りが、発言の偏りを助長しているということです。

#### <表④>

- ✧ 代議員の年齢構成は、50代以上が80.5%を占め、50代未満は18.9%に過ぎません。これには諸教会の現在会員のうち、50代未満が3分の1に減少していることも影響していると考えられますが、議場では教会よりも50代未満の割合が低くなっています。
- ✧ 発言者の割合は、85.5%が50代以上の代議員でした。前総会では連盟のこれからのことを話し合うこと時間が多く持たれましたが、その際にも中心となっていたのは50代以上の声であったことは覚えておく必要があると考えます。

#### <表⑤>

- ✧ 発言回数は、議長に指名された回数をカウントしました。（1度の指名で3つの質問をした場合も1回とカウント）
- ✧ 前総会において、発言しなかった（できなかった）代議員の割合は、 $228 \text{人} \div 297 \text{人} = 0.7676 \dots \approx 76.8\%$ です。
- ✧ 一人当たりの発言回数にも大きな差がありますが、教会ごとの差はさらに広がります。前回は複数の代議員を派遣することができた教会のうちの7教会から複数の代議員の発言がありました。全体の発言回数の制限がある中で、議長団は「まだ発言していない人」を指名しようとはしますが、教会の代議員数によって発言機会の差が生じていることが少なからず起こっています。